

ミュージアムだより

Vol.
009



現在ミュージアムでは、秋季企画展「長野原の中世と柳沢城」を開催中です！
本展では、これまであまり知られていなかった長野原町内の中世（戦国時代）にスポットをあて、山城から出土した中国伝来の骨董品の瓶や、普段は非公開の板碑などを展示しています。
文化・芸術の秋、武将たちが群雄割拠した時代に思いをはせてみてはいかがでしょうか？



スケジュール

詳細はHPでご確認ください。【お問い合わせ／お申し込み：0279-82-5150】

	特別展示・イベント	その他
10月	<p>【秋季企画展 vol.2】 「長野原の中世と柳沢城 -「長野原町かるた」でめぐる武将の足跡-」 好評開催中～11/4（月）</p> <p>町で親しまれている郷土かるたと、貴重な陶磁器類が出土した山城「柳沢城」の出土遺物を初公開！</p>	
11月	<p>※詳細は別途チラシ・HPをご覧ください</p>	<p>【関連イベント】 秋の城址めぐりツアー 満員御礼！ 10/26（土）9:00～12:00 秋の丸岩城・柳沢城を歩いてみませんか？</p>
12月	<p>【ミュージアムキッズデー】 長野原町に伝わる郷土玩具「キジグルマをつくろう！」 12月下旬 ※詳細は別途チラシ・HPをご覧ください</p>	<p>第一小学校旧校舎では 「長野原町歴史探検スポット！」 展示中！</p>

施設案内

開館

9:00～16:30
(最終入館 16:00)

休館日

水曜日
※水曜が祝日・振替休日の場合はその翌日
※年末年始

入館料

一般：600円 (500円)
小・中学生：400円 (300円)
※()内は15名以上の団体割引料金 ※町民無料

お問い合わせ

TEL:0279-82-5150 FAX:0279-82-5152
群馬県吾妻郡長野原町大字林1464-3

アクセス



この絵図は、浅間山の大噴火の際の溶岩噴泉、火山雷、噴石の降下などが描かれており、噴火当時の事がよくわかるものですが、噴火で大変なときにどこで描かれたのか？ 煙の流れる方向から、この絵は浅間山の南側から描かれたものと推測されます。また、浅間山の手前に2つの峰（^{けんがみね}剣ヶ峰と^{かしら}トミの頭？）が描かれており、このように見える方向を探したら、やはり現在の長野県御代田町から小諸

市の方角でした。この地域は浅間山大噴火の際も降灰などの影響をほとんど受けていなかったため、この辺りにいた人がしっかりと絵図で記録を残してくれたのだと思われまし、この絵図の現在の所有者が小諸市の方なのも納得できます。（中村）



ミュージアム 私のイチオシ！



泥流に襲われる直前までの暮らしがそこにあったことが、2ヶ所の展示コーナー「よみがえる人々の暮らし」「うばわれた日常」の展示物の一つ一つから想像して頂けると幸いです。

その中で、テレビの時代劇で観た「お歯黒」の出土品に興味を湧きました。枕草子や源氏物語では「はぐろめ」と記され、古い時代から女性の風習のようです。平安朝末期には一部男性公家によっても起こり、貴族の表象となりました。その後、上級武家にも広がりました。そして江戸時代、『女性訓蒙図葦』に「歯黒は毎日すべし、二日に一度は中、三日に一度は下也」とあり、「お歯黒」は女性の身だしなみと位置づけられたようです。



佐藤 英子 さん
(ミュージアム サポーター)

天明泥流の災害を、当館で「目で読み」、読書の秋の一冊として記憶に留めて頂ければと思います。



活動報告

新企画「ナイトミュージアム2024」を開催しました！

夏休み終盤の8月23日、初めての夜間開館となる「ナイトミュージアム」を開催しました。展示室見学のほか、バックヤードツアー、旧小学校校舎での16ミリフィルム上映会などをおこない、町内外から30名ほどのお客様と一緒に、職員やサポーターもふだんとはひと味違ったミュージアムの雰囲気を楽しみました。来年以降の開催もどうぞお楽しみに！



お知らせ

「ミュージアムオリジナル『やんばっち』好評発売中です！」

「やんばっち」は、60種類以上のデザインの中から好きなものを選んで、ご自身で作成することができる当館オリジナルの缶バッチです。作成時間はたったの5分！小さなお子様でもつくることができます。来館の記念に、お土産に、おひとついかが？

